

入域観光客統計概況

-平成19年2月分-

2月の入域観光客数は、465,600人。前年同月比は+6.9% (+30,000人)で、同月としては過去最高の記録となった。
 1月～2月の入域観光客数は、901,400人。前年同期比は+5.7% (+48,500人)で、同期間の過去最高の記録となった。

1. 国内外別入域状況

国内：	455,600人	前年同月比	+26,200人	(+ 6.1%)
海外：	10,000人	前年同月比	+ 3,800人	(+ 61.3%)
合計：	465,600人	前年同月比	+30,000人	(+ 6.9%)

2. 主要航路別入域状況

東京：	210,800人	前年同月比	+21,900人	(+11.6%)	構成比45.3%	
関西方面：	82,500人	前年同月比	△ 500人	(△ 0.6%)	構成比17.7%	
(内訳)	伊丹：	23,100人	前年同月比	△12,200人	(△34.6%)	構成比 5.0%
	関西：	38,600人	前年同月比	+ 2,700人	(+ 7.5%)	構成比 8.3%
	神戸：	20,800人	前年同月比	+ 9,000人	(+76.3%)	構成比 4.5%
福岡方面：	58,000人	前年同月比	+ 2,300人	(+ 4.1%)	構成比12.5%	
(内訳)	福岡：	55,600人	前年同月比	△ 100人	(△ 0.2%)	構成比11.9%
	北九州：	2,400人	新規路線	(平成18年3月16日～運航)	構成比 0.5%	
名古屋：	40,700人	前年同月比	+ 500人	(+ 1.2%)	構成比 8.7%	
札幌：	7,700人	前年同月比	△ 800人	(△ 9.4%)	構成比 1.7%	

3. 概況と見通し

国内客については、プロ野球の春季キャンプが始まったこと、及び新規参入路線が大幅に増加したこと、また、航空会社の沖縄キャンペーンもあり、上旬及び3連休の入域観光客数が大幅に増加したことから前年実績を上回った。外国客については、春節休暇を利用したツアーの企画があったこと、クルーズ船の寄港があったことから大幅に増加した。

今後の見通しとしては、国内客については、春休みをむかえること、新たに航空会社のキャンペーンも始まることから好調に推移するものと思われる。

外国客についても、香港-那覇間のチャーター便の企画があること、台湾の航空会社のショッピングツアー等の新しい企画商品があることから、堅調に推移するものと思われる。

担当：観光企画課 糸洲
 TEL 098-866-2763
 FAX 098-866-2767

(財) 沖縄観光コンベンションビューロー及び県各事務所のコメント (要旨)

1. 国内

東京事務所 (関東地区)

- 3連休を中心に個人旅行商品が好調であったこと、及びプロ野球の春季キャンプが県内各地で行われたことから前年実績を大幅に上回った。
- 個人旅行商品及び団体旅行商品も順調にのびていることから順調に推移するものと思われる。

大阪事務所 (関西地区)

- 暖冬の影響でゴルフツアー客が減少したことにより、前年実績を若干下回った。
- 航空会社のキャンペーンが始まることから、堅調に推移するものと思われる。

福岡案内所 (九州・山口地区)

- シニア世代の利用が多い添乗員付きのツアーが好調であったこと、フリーパックの旅行商品が好調であったことから前年実績を上回った。
- 個人旅行商品が好調であることから、堅調に推移するものと思われる。

名古屋情報センター (名古屋地区)

- 3連休があったこと、及び中日ドラゴンズの優勝の影響もあり、連日マスコミにキャンプ情報が流れたことにより、ツアー客が増え、前年実績を上回った。
- 航空会社の新たなキャンペーンが始まることから、順調に推移するものと思われる。

北海道観光・物産情報センター (北海道地区)

- プロ野球の春季キャンプ関連のツアー商品もあり、3連休を中心に好調に推移したものであるが、経路便利用が多く、直行便については減少した。
- 最近の傾向として直行便利用商品より安価な経路便利用商品が増加しており、数字に表れにくくなっていると思われる。

2. 海外

台北事務所

- 2月の春節休暇に合わせたチャーター便の運航があったことから大幅に増加した。
- 3月から航空会社との連携による“沖縄リゾートショッピング共同プロモーション”、及び“統一パック商品”が始まるため期待される。

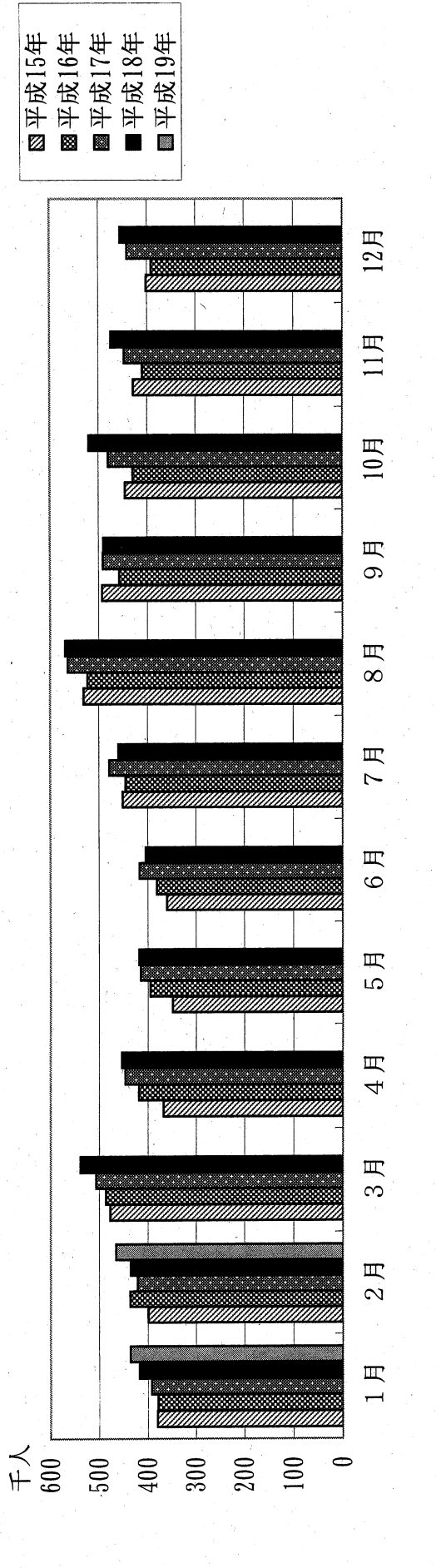
韓国事務所

- 春節の休暇に合わせた商品の売れ行きが好調であったこと、円安が続いていることから前年実績を大幅に上回った。
- 2月下旬からの減便による提供座席数減少により商品造成が厳しくなることから懸念されるが、ツアーが予定されているため若干増加すると思われる。

上海事務所

- 春節休暇の旅行シーズンにあったが、直航便の座席がほとんど確保出来ない状態にあり、ツアー販売が出来ず、小幅な増加に止まった。
- 商品造成に向けて、航空会社及び現地旅行社への働きかけを引き続き推進していきたい。

月別入域観光客数の推移（平成15年～平成19年）



(単位：千人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
平成15年	379.8	399.4	477.8	368.0	348.7	360.2	451.3	531.6	493.0	445.5	428.1	401.3	5,084.7
平成16年	379.2	436.3	486.5	418.5	395.0	381.2	445.4	523.4	457.8	429.2	409.9	390.8	5,153.2
平成17年	392.4	421.3	506.7	446.6	414.4	416.7	478.7	563.6	491.4	479.9	447.2	441.2	5,500.1
平成18年	417.3	435.6	538.9	453.4	417.9	404.3	460.4	569.2	490.4	519.9	474.5	455.1	5,636.9
平成19年	435.8	465.6											901.4

月別入域観光客数の推移（平成15年～平成19年）

（単位：人、％）

	実 数										前 年 比											
	平成15年		平成16年		平成17年		平成18年		平成19年		15年/14年		16年/15年		17年/16年		18年/17年		19年/18年			
	月間	累計	月間	累計	月間	累計	月間	累計	月間	累計	月間	累計	月間	累計	月間	累計	月間	累計	月間	累計		
1月	379,800	379,800	379,200	379,200	392,400	392,400	417,300	417,300	435,800	435,800	13.4	13.4	△0.2	△0.2	3.5	3.5	6.3	6.3	4.4	4.4	4.4	4.4
2月	399,400	779,200	436,300	815,500	421,300	813,700	435,600	852,900	465,600	901,400	1.0	6.7	9.2	4.7	△3.4	△0.2	3.4	4.8	6.9	6.9	5.7	5.7
3月	477,800	1,257,000	486,500	1,302,000	506,700	1,320,400	538,900	1,391,800			3.5	5.4	1.8	3.6	4.2	1.4	6.4	5.4				
4月	368,000	1,625,000	418,500	1,720,500	446,600	1,767,000	453,400	1,845,200			△3.2	3.3	13.7	5.9	6.7	2.7	1.5	4.4				
5月	348,700	1,973,700	395,000	2,115,500	414,400	2,181,400	417,900	2,263,100			1.7	3.0	13.3	7.2	4.9	3.1	0.8	3.7				
6月	360,200	2,333,900	381,200	2,496,700	416,700	2,598,100	404,300	2,667,400			△1.7	2.3	5.8	7.0	9.3	4.1	△3.0	2.7				
7月	451,300	2,785,200	445,400	2,942,100	478,700	3,076,800	460,400	3,127,800			13.8	4.0	△1.3	5.6	7.5	4.6	△3.8	1.7				
8月	531,600	3,316,800	523,400	3,465,500	563,600	3,640,400	569,200	3,697,000			5.1	4.2	△1.5	4.5	7.7	5.0	1.0	1.6				
9月	493,000	3,809,800	457,800	3,923,300	491,400	4,131,800	490,400	4,187,400			11.0	5.0	△7.1	3.0	7.3	5.3	△0.2	1.3				
10月	445,500	4,255,300	429,200	4,352,500	479,900	4,611,700	519,900	4,707,300			11.7	5.7	△3.7	2.3	11.8	6.0	8.3	2.1				
11月	428,100	4,683,400	409,900	4,762,400	447,200	5,058,900	474,500	5,181,800			8.5	5.9	△4.3	1.7	9.1	6.2	6.1	2.4				
12月	401,300	5,084,700	390,800	5,153,200	441,200	5,500,100	455,100	5,636,900			△2.7	5.2	△2.6	1.3	12.9	6.7	3.2	2.5				
計	—	5,084,700	—	5,153,200	—	5,500,100	—	5,636,900	—	901,400	—	5.2	—	1.3	—	6.7	—	2.5	—	—	—	5.7

入域観光客統計月報(平成19年2月分)

第1表 入域者数 (単位:人、%)

年月	区分		入域者数		入域観光客数		国内
	総数	入域者	総数	入域者	総数	入域者	
19年2月	514,400		465,600	10,000	455,600	10,000	48,800
18年2月	481,300		435,600	6,200	429,400	6,200	45,700
間	増減数	33,100	30,000	3,800	26,200	3,800	3,100
	前年比	106.9	106.9	106.1	161.3	161.3	106.8
19年2月	999,700		901,400	17,100	884,300	17,100	98,300
18年2月	945,300		852,900	14,300	838,600	14,300	92,400
数	増減数	54,400	48,500	2,800	45,700	2,800	5,900
	前年比	105.8	105.7	105.4	119.6	119.6	106.4
今月	100.0		90.5	88.6	88.6	1.9	9.5
構成比	累計	100.0	90.2	88.5	88.5	1.7	9.8

第2表 空海路別入域観光客数 (単位:人、%)

年月	区分		総数		空路		海路	
	総数	入域者	総数	入域者	総数	入域者	総数	入域者
19年2月	465,600	10,000	460,900	453,300	7,600	4,700	2,300	2,400
18年2月	435,600	6,200	433,000	427,500	5,500	2,600	1,900	700
間	増減数	30,000	27,900	25,800	2,100	2,100	400	1,700
	前年比	106.9	106.4	106.0	138.2	180.8	121.1	342.9
19年2月	901,400	17,100	893,500	879,600	13,900	7,900	4,700	3,200
18年2月	852,900	14,300	846,500	833,800	12,700	6,400	4,800	1,600
数	増減数	48,500	47,000	45,800	1,200	1,500	△100	1,600
	前年比	105.7	105.6	105.5	109.4	123.4	97.9	200.0
今月	100.0	97.9	99.0	97.4	1.6	1.0	0.5	0.5
構成比	累計	100.0	99.1	97.6	1.5	0.9	0.5	0.4

入域観光客統計月報(平成19年2月分)

第3表 航路別入域観光客数

年月	区分		(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	(21)	(22)	(23)	(24)
	総数	東京	伊丹	関西	神戸	福岡	名古屋	札幌	鹿児島	新北九州	仙台	福島	新潟	富山	小松	岡山	広島	高松	松山	高知	長崎	熊本	大分	宮崎	その他	外国
19年2月	465,600	210,800	23,100	38,600	20,800	55,600	40,700	7,700	10,600	2,400	8,000	2,600	2,800	0	3,300	3,400	6,300	4,200	1,700	900	2,300	3,800	2,000	2,400	1,600	10,000
18年2月	435,600	188,900	35,300	35,900	11,800	55,700	40,200	8,500	10,100	0	6,800	2,600	2,700	100	3,100	3,500	5,700	4,000	1,400	1,000	2,300	4,000	2,300	2,600	900	6,200
増減数	30,000	21,900	△12,200	2,700	9,000	△100	500	△800	500	2,400	1,200	0	100	△100	200	△100	600	200	300	△100	0	△200	△300	△200	△300	3,800
前年比	106.9	111.6	65.4	107.5	176.3	99.8	101.2	90.6	105.0	皆増	117.6	100.0	103.7	0.0	106.5	97.1	110.5	105.0	121.4	90.0	100.0	95.0	87.0	92.3	177.8	161.3
19年2月	828,230	407,800	46,400	74,500	41,200	105,500	80,400	15,700	22,000	4,600	15,100	5,100	5,100	0	6,100	6,500	12,600	7,500	3,200	1,600	4,600	8,300	3,900	5,000	1,600	17,100
18年2月	780,611	371,700	72,700	74,800	11,800	109,500	78,800	15,400	21,000	0	14,800	5,400	4,700	100	5,800	6,300	11,600	7,400	2,800	1,800	4,300	7,900	4,200	4,900	900	14,300
増減数	47,618	36,100	△26,300	△300	41,200	△4,000	1,600	300	1,000	4,600	300	△300	400	△100	300	200	1,000	100	400	△200	300	400	△300	100	△300	2,800
前年比	106.1	109.7	63.8	99.6	349.2	96.3	102.0	101.9	104.8	皆増	102.0	94.4	108.5	0.0	105.2	103.2	108.6	101.4	114.3	88.9	107.0	105.1	92.9	102.0	177.8	119.6
今月	100.0	45.3	5.0	8.3	4.5	11.9	8.7	1.7	2.3	0.5	1.7	0.6	0.6	0.0	0.7	0.7	1.4	0.9	0.4	0.2	0.5	0.8	0.4	0.5	0.3	2.1
構成比	100.0	45.2	5.1	8.3	4.6	11.7	8.9	1.7	2.4	0.5	1.7	0.6	0.6	0.0	0.7	0.7	1.4	0.8	0.4	0.2	0.5	0.9	0.4	0.6	0.1	1.9

注 1 県外客には、本土経由で来県する外国客も含まれる。
 2 累計は、本年1月1日から当月末までの合計である。
 3 推計方法は、国内航路については、本土と本県間に航路を有する航空及び船舶各社の航路別旅客輸送実績に同航路における入域観光客の混在率(サンプリング調査)をデフレクターとして算出した。
 また、外国航路については福岡入国管理局那覇支局の速報によるが、法務省の確報に基づき遡って修正することがある。